

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyousho.jp/
e-Mail info@s-koukyousho.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第446号
2019年
7月24日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面 ・育休復帰応援カフェ
・エバーグリーン「無言館訪問」



人事院、人事委員会に要請

公務労働者の賃上げによって、民間の賃上げ、地域の活性化を

県公務員共済労働組合共闘会議(県公務員共闘)静岡高教組執行委員長深田祐文が議長)は、7月12日に、静岡県人事委員会に、7月16日に人事院中部事務局に、今年度人事院勧告を前に公務労働者の勤務条件改善等を求めて要請書を提出しました。

民間企業では団体交渉で賃金が決まりますが、日本の公務員は争議行為が禁止されるなど労働基本権が大きく制限されています。その代償措置として、中立の第三者機関である人事院、人事委員会が、公務員の給与その他の勤務条件や人事行政の改善を内閣と国会、知事と県議会に勧告します。

民間準拠原則により、規模50人以上の民間企業の賃金とボーナスを調査し、公民格差がある場合には国会、地方議会にその是正を勧告します。

国の人事院勧告は8月初旬、県の人事委員会勧告は10月上旬に行われ、逆公務員の賃金を引き上げることが、民間の賃金を引き上げるの力になり、地域経済活性化の原動力になります。比較調査の対象企業は以前のように100人以上の企業とすべきです。

地域手当は、物価が高い民間賃金の高い地域に勤務する職員に適用され、3〜20%が加算されます。最低賃金の差もあり、県境などでは神奈川県、愛知県に流出し、人手不足に悩まされることになっています。

実は全国どこでも生計費にほとんど差はありません。どこでも安心して暮らせる労働条件を求めます。

人事評価制度は公務員になじまない

「競わないと質が高まらない」がばつた人が報われない」という論理をいまだに乗り越えられないようです。教師も公務員も、人づくり、地域づくりが仕事。みんなで支えあひ暮らしやすく働きやすい地域づくりが使命の

2019年 女性部北陸・中部・東海ブロック 交流会に参加して 福井教育会館にて

天気はイマイチでしたが、昨年続いて交流会に参加するため、福井に行ってきました。

昨年の富山での交流会には北陸新幹線を利用しましたが、今回は中部縦貫道を利用し、岐阜から福井へ向かいました。片道4時間。白山山地を抜けて福井にでると、鮮やかな緑が目まぶしいばかりの、水田が広がっていました。さすが米どころ。水田の風景からしておいしそうなお米ができそうです。ただ今年も冷夏で、凶作になるのではないかとささやかれているのが、いささか心配です。

11時。交流会スタート。全教事務局からの基調報告に続いて、各県からの報告がはじまりました。静岡からは、女性部長の井上ゆかりさんが報告を行いました。

話を進めていくうちに、静岡で認められた4月1日から育休代替教員の配置が話題となりました。これは昨年、県教委との専門部交渉で勝ち取った権利ですが、年度内に6月以上の育休をとることが

は、人事評価制度の論理は、バワハラ、足の引っ張り合いを招きます。教育の質の低下、サービスの低下を招きます。急務なのは公務員と教員の定数増。OECD並みに教育予算を増やすことを要請しました。

確定している場合、4月1日から代替講師の配置が行われるというものです。義務制ではかなり以前から、高校でも数年前から、今年度からようやく特別支援学校でも実施されることになりました。

静岡でできたんだから、うちでもやりたい参加者の多くの方から声があがりました。

静岡でなかなかやるじゃん、と内心得意でしたが、問題はせっかく制度を作っても、代替講師の確保が難しいということです。この問題は、静岡だけでなく、他県でも同じです。どうしたら、代替を確保できるのか。新たな問題に取り組んでいかなければならない。その自覚を胸に帰路につきました。

(駿河総合高校 袴田康子)

何をやってもうまくいかず、裏目に出てばかりの青年教師時代、薬にもする思いで、カウンセラーになる条件は三つだけ、受容、共感、自己一致、と教わりました。でも、この三つができる人はいない、とも受容は、あれこれ口を挟まず、相手のありのままを受け入れること。共感、相手の立場に立つて同じ気持ちになること。そして、自己一致、心と言動を一致させること。心にもない言葉を言っても、相手の心には届かないものです。受容も共感もいってもできるわけではないのですが、せめて生徒の前では自己一致はしたいものです。私も反対だけれど、国が恐いの

で、やらしてほしい。評価制度をめぐる県との交渉がよく見られる態度です。まるで良心を殺して付度する例の官僚のよう。現場でも「この制度はおかしい」と思いますが、県が言うので」と管理職。どちらも、自己一致できていません。そんなことでは、現場の我々も、自己一致できないまま、生徒の前に立つことになりかねません。誠実な人とは、自己一致した人なんだとか。お上の意向ではなく、まず自分の良心に忠実なまま、教壇には立ちたいものです。

主張

今年4月から始まった「働き方改革」で学校現場は変わったでしょうか。「勤怠管理システム」の導入や部活動計画書の提出など、働きすぎ規制への動きはありますが、「ワークライフバランス」実現には程遠い状況にあります。

「せんせいふやそうきょくキャンペン」

2018年の厚生労働省「過労死等防止対策白書」によれば、小・中高特別支援学校を含め、すべての学校の教職員の1日あたりの実勤務時間の平均は、通常時でさえ1日11時間17分です。1か月あたりの時間外勤務の平均は77時間44分と、きわめて深刻な事態です。

長時間過密労働は教職員の労働問題や健康問題にとどまらず、子どもの平均は、通常時でさえ1日11時間17分です。1か月あたりの時間外勤務の平均は77時間44分と、きわめて深刻な事態です。

長時間過密労働は教職員の労働問題や健康問題にとどまらず、子どもの平均は、通常時でさえ1日11時間17分です。1か月あたりの時間外勤務の平均は77時間44分と、きわめて深刻な事態です。

2020年度から順次、改訂学習指導要領が本格実施され、授業時間増と教職員の負担増が心配されています。ところが文部科学省は、通常の勤務時間を延長し、代わりに夏休みなどの勤務時間を縮める1年単位の変形労働時間制を導入しようとしています。



ネット署名に change.org を活用しよう！

次、改訂学習指導要領が本格実施され、授業時間増と教職員の負担増が心配されています。ところが文部科学省は、通常の勤務時間を延長し、代わりに夏休みなどの勤務時間を縮める1年単位の変形労働時間制を導入しようとしています。

6月21日に衆議院第

お願ひします。



(駿河総合高校 袴田康子)

視座

何をやってもうまくいかず、裏目に出てばかりの青年教師時代、薬にもする思いで、カウンセラーになる条件は三つだけ、受容、共感、自己一致、と教わりました。でも、この三つができる人はいない、とも受容は、あれこれ口を挟まず、相手のありのままを受け入れること。共感、相手の立場に立つて同じ気持ちになること。そして、自己一致、心と言動を一致させること。心にもない言葉を言っても、相手の心には届かないものです。受容も共感もいってもできるわけではないのですが、せめて生徒の前では自己一致はしたいものです。私も反対だけれど、国が恐いの

で、やらしてほしい。評価制度をめぐる県との交渉がよく見られる態度です。まるで良心を殺して付度する例の官僚のよう。現場でも「この制度はおかしい」と思いますが、県が言うので」と管理職。どちらも、自己一致できていません。そんなことでは、現場の我々も、自己一致できないまま、生徒の前に立つことになりかねません。誠実な人とは、自己一致した人なんだとか。お上の意向ではなく、まず自分の良心に忠実なまま、教壇には立ちたいものです。

産休育休復帰応援カフェ

子育てしながら、働き続けやすい職場にしよう

権利としての制度をより使いやすいものにするために



7月13日に第3回「育休復帰応援カフェ」を開催しました。参加者4名、スタッフ7名、子ども6名と、アットホームな雰囲気で行いました。

今回も育児中に使える権利の話、共済カフェ、座談会という内容で行いました。

権利の話では、復帰時期を迷っている方から、期間の延長について、復帰後の働き方を考えた時

育休中は職場から離れ、同じ職業の仲間と出会ったり話したりする機会もなかなかないの

で、働き方や制度に関する情報も不足し、ひとりで悩みを抱えてしまいがちです。仲間と語り合う場、自分の使える制度について知る場の必要性を改めて感じました。

また、短時間勤務については制度としては使えても、保育園に入る時にポイントが下がって希望

園に入れなくなる可能性が高くなるという話もありました。

仲間を集って話すことの短時間勤務や部分休業について詳しく知りたいという質問がありました。

育休中は職場から離れるため、復帰後の今、悩んでいること困っていること」をテーマに話し合いました。

座談会では、「産育休中の今、悩んでいること困っていること」をテーマに話し合いました。

①復帰の時期や復帰後の働き方
②保育園選び
③育休中の生活
④仕事と家庭・育児との両立

今回初めて、産休中の方が参加し、復帰時期の決め方や一歳過ぎて育休をとる場合の家計をどうしているかという話が出ました。私自身も初めての育休で悩んだことでも、復帰カフェの中で、産休以前の方と育休中・復帰後の方との情報交換



はとても参考になりました。

自分の使える制度を知ったり、経験談を聞いたりすることで、育児しながらの自分の働き方についてイメージや見通しをもつことができました。それは、安心して復帰することにつながります。これまで3回の育休復帰応援カフェの大きな意義を感じます。

また、毎回感想に「子どもたちと遊んでいてもらいじくり話ができてもよかった」という声がありました。育休中は子どもと離れて学んだり、話したりできる機会が少ないと思うので、子どもから離れて少しでもホッと

今月初めて、産休中の方が参加し、復帰時期の決め方や一歳過ぎて育休をとる場合の家計をどうしているかという話が出ました。私自身も初めての育休で悩んだことでも、復帰カフェの中で、産休以前の方と育休中・復帰後の方との情報交換

また、毎回感想に「子どもたちと遊んでいてもらいじくり話ができてもよかった」という声がありました。育休中は子どもと離れて学んだり、話したりできる機会が少ないと思うので、子どもから離れて少しでもホッと



（富士特支・加藤奈史）

また、毎回感想に「子どもたちと遊んでいてもらいじくり話ができてもよかった」という声がありました。育休中は子どもと離れて学んだり、話したりできる機会が少ないと思うので、子どもから離れて少しでもホッと

エバーグリーン藤枝「平和をつくる旅」無言館を訪ねて

エバーグリーン「平和をつくる旅」で長野の無言館を訪ねることができました。

（1995年出目昌伸監督作品）を鑑賞。学半ばにして、出陣となった3人の学生を追ったこの映画を若い高校生たちもよく観ていました。

塩田平の緑の中にある無言館は中世の修道院を思わせる荘厳さ。予め連絡をしておいた受付でエバーグリーンの訪問趣旨を再度伝え、写真撮影の許可を特別に得ました。

「山梨平和ミュージアム」を訪れ、8月の藤枝市平和展で報告をしてきました。平和をつくる旅9回目となる今回は、この旅の始まりとなった無言館を再び訪れようということになりました。

参加者は志保地区3校の高校生10名、中学生1名、若者3名、教員6名の合計20名。

車中では、自己紹介の後、「きけ、わだつみの声 Last Friends」

静謐な館内に多くの作品が展示されています。二つの絵の傍らのプレートには一人ひとりのエピソードが書かれています。貧しい中で芸術大学へ進ませてくれた家族へ



の感謝、幼い頃からいつも自分を慈しんでくれた祖母、家族、故郷への愛情……。出征する直前まで大切な人々を描き続け、帰って続きを描きたいという思いも叶わずに戦地で亡くなったこと、出征後に我が子を産んだ妻

が病で亡くなる知らせを戦地で受け慟哭した様子としてその後、自らも戦死したこと等々。余りの悲痛な人生に胸がつかぶれ、耐えきれない思いになります。と同時に、戦争の悲惨さ、理不尽さがこみあげます。しかしそれでもなお、本当に短い彼の生涯の中で、自分の愛する者や故郷、自画像を描いた作品は「未完成」ではあるが、今もなお存在し続けて、彼らが生きた証を伝え続ける事実に加えて、その作品から不思議なほど、生の明るさや喜びを感じるものがあつて救いました。

作品は第2展示館「傷り」の車中では二人、感想を述べあいました。

「自分がこの世に確かにあったことを残したい」という強い思いに胸が熱くなった。「戦争の暗い絵が多いのだろうと想像していたが、意外に日常を描いた絵が多いことに驚いた。しかし、その平穩だが、大切な日常を奪われた事実、中には自分の家族を早く失った辛い体験を戦没画学生に重ねて思いを語る者もいました。「平和でよかった、というふうな定型句に落とし込んで人々に寄り添えなくては……」



（榛原高校 山口良二）

でも多く、その意味でもこの「平和をつくる旅」は意義深いものでした。

本当に短い生涯の中でも、自分の大好きな絵に向かい、大切なものを描き続けた画学生たちの姿に、振り返って「自分は何を残すことができるのか」「大切なものは何か」を自問せざるを得ませんでした。

（池ヶ谷八州志）

と、ロビーの生活はハリリーとの出会いで変わっていく。しかし、ここからが、面白くなるので、紹介はここまで。（しんぶん編集委員）

続・映画の中の教師たち 10 「天使の分け前」

監督：ケン・ローチ
2012年イギリス映画

スコットランドのグラスゴーでハリリーは、犯罪をおこした若者の社会奉仕活動を指導する教官をしている。男女8名の若者を担当。その中のロビーは前歴もあり、頬に大きな傷がある。今回は300時間の奉仕作業をやることに。恋人レオニーには自分の子どもが宿っている。彼は喧嘩仲間から抜け出して、まともな家庭を築きたいと考えている。

若者たちは、仕事にまともに取り組まないハリリーは根気よく指導していく。

また、若者たちの私的な部分まで、関与し良い方へ導こうとする。例えば、奉仕活動中にレオニーが産気づいたという電話がある。ハリリーは、仕事の車にロビーを乗せ病院へ向かう。そこにはロビーを気にくわない奴らがいて、彼をめちゃくちゃに殴りつける。ハリリーは倒れたロビーを介抱し、自宅に招く。出産の報を知ると、取って置きのウイスキーの栓を抜き、誕生日に乾杯するのだった。ハリリーは、休日にもロビーを呼び出し、「この課外活動がばれたらまずいことになる」と言いつつも、嬉々として、車

ある日、ハリリーがロビーをエディンバラで開かれるウイスキーの集いに誘う。ハリリーはロビーだけを思っていたが、別の3人も行きたいと言いつつ、5人で行くことになる。そこでも銘柄当てが行われるが、ロビーは数ある銘柄から2つを選び出し、専門家に絶賛される。また、プロのコレクターから声をかけられる。専門家が、集会の最後に秘蔵のウイスキー樽が発見され、数週間後に報道されるだろうと言った。

と、ロビーの生活はハリリーとの出会いで変わっていく。しかし、ここからが、面白くなるので、紹介はここまで。（しんぶん編集委員）

（池ヶ谷八州志）

でも多く、その意味でもこの「平和をつくる旅」は意義深いものでした。

本当に短い生涯の中でも、自分の大好きな絵に向かい、大切なものを描き続けた画学生たちの姿に、振り返って「自分は何を残すことができるのか」「大切なものは何か」を自問せざるを得ませんでした。



価格：DVD ¥4,700(税抜)
発売元・販売元：株KADOKAWA